

2007年3月20日

2005-2006年度活動報告

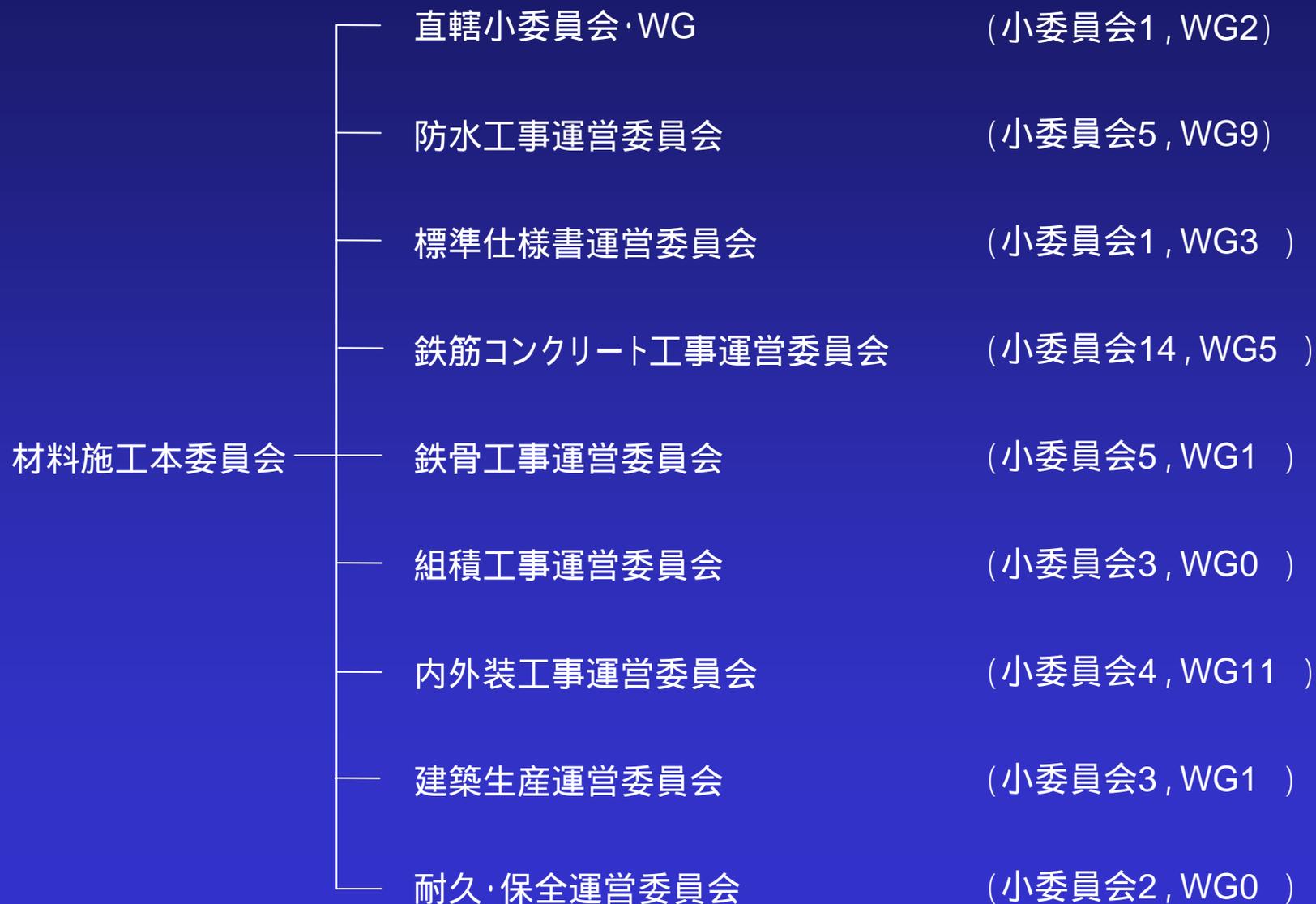
材料施工委員会

委員長 田中享二

材料施工委員会の主な役割

- (1) 学術 …… 材料施工に係る研究の活性化
- (2) 社会 …… 材料・施工に関する最新情報の発信
- (3) 教育 …… 学生及び社会人の教育支援

材料施工委員会の組織 2006年度



建築工事標準仕様書・同解説 (JASS) の作成

建築工事の標準を示すもので、学会が中心となって建築界をリード
信頼できる解説書、教科書



建築工事標準仕様書

JASS 1	一般共通事項	JASS 14	カーテンウォール工事
JASS 2	仮設工事	JASS 15	左官工事
JASS 3・4	土工事・山留工事 地業・基礎スラブ工事	JASS 16	建具工事
JASS 5	鉄筋コンクリート工事	JASS 17	ガラス工事
JASS 5N	原発RC工事	JASS 18	塗装工事
JASS 6	鉄骨工事	JASS 19	陶磁器タイル工事
JASS 7	メーソンリー工事	JASS 21	ALCパネル工事
JASS 8	防水工事	JASS 22	雑工事
JASS 9	張り石工事	JASS 23	吹付け工事
JASS 10	PCa コンクリート工事	JASS 24	断熱工事
JASS 11	木工事	JASS 25	ユニット類工事(廃刊)
JASS 12	屋根工事	JASS 26	内装工事
JASS 13	金属工事	JASS 27	乾式外壁工事
		JASS 101,102,103	電気・電力・ 通信設備工事

材料施工委員会の主要な活動成果 (2005 - 2006年度)

1.出版

建築工事標準仕様書

- 建築工事標準仕様書・同解説 JASS21 ACLパネル工事
- 建築工事標準仕様書・同解説 JASS2 仮設工事
- 建築工事標準仕様書・同解説 JASS26 内装工事
- 建築工事標準仕様書・同解説 JASS6 鉄骨工事
- 建築工事標準仕様書・同解説 JASS18 塗装工事
- 建築工事標準仕様書・同解説 JASS23 吹付工事

施工指針等

- 鉄筋コンクリート造建築物の収縮ひび割れ制御設計・施工指針(案)・同解説
- 建築技術者のためのJASS3山留め工事Q&A
- 建築技術者のためのJASS4杭工事Q&A
- 鉄骨工事技術指針・工場製作編
- 鉄骨工事技術指針・工場現場施工編
- 鉄骨工事精度測定指針
- 鉄筋コンクリート造建築物の品質管理および維持管理のための試験方法
- ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)・同解説

教材等

- 建築材料用教材

材料施工委員会の主要な活動成果

2. 講習会開催

	参加者数
JASS21ACLパネル工事講演会	254名
JASS2仮設工事改定講習会	74名
「鉄筋コンクリートの収縮ひび割れ制御設計・施工指針」講習会	842名
JASS26内装工事改定講習会	146名
「JASS6(鉄骨工事)・鉄骨工事技術指針(工場製作偏/工事現場施工編)・鉄骨精度測定指針」改定講習会	1918名
「鉄筋コンクリート造建築物の品質管理および維持管理のための試験方法」講習会	217名
「JASS18(塗装工事)/JASS23(吹付工事)」改定講習会	142名
「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)・同解説」講習会	211名

材料施工委員会の主要な活動成果

3. シンポジウム等

参加者数

第2回コンクリート・ポリマーシンポジウム/コンクリート・ポリマー複合体シンポジウム」 49名

第3回防水シンポジウム 136名

シンポジウム「防水・内外装およびコンクリートブロック堀」における
自然災害(台風・地震)被害調査報告会-2004年9月台風18号被害、
10月23日中越地震被害を考える-」 58名

第16回建築施工ロボットシンポジウム 62名

「フライアッシュを使用するコンクリートの調合設計・施工ガイドライン(案)
同解説」説明会 61名

コンクリート材料の基準化に関するシンポジウム 99名

第5回ワークショップ「建築生産自動化・ロボット化20年の歩みと今後の展望」 31名

材料施工委員会の主要な活動成果

4. 大会研究集会

研究協議会「鉄筋コンクリート造建築物のひび割れ対策」

PD:「フライアッシュの建築用コンクリートへの有効利用」

研究協議会「コンクリート技術の動向とJASS5改定への反映」

PD:「固形エンドタブ工法を用いた梁端溶接接合部の欠陥評価」

PD:「進化を続ける建築外皮と克服すべき課題」

材料施工委員会のトピック

(1) 「内外装二次部材(屋根・外壁・天井)の地震、風による被害の軽減化」
特別研究委員会の立ち上げ ……2006年4月より活動開始

(材料施工本委員会、構造委員会、災害委員会の連携)

外壁損害軽減化小委員会
屋根被害軽減化小委員会
天井被害軽減化小委員会



(2) 「鉄筋コンクリートひび割れ制御設計・施工指針(案)」の発刊

1999年「品確法」以来ひび割れ問題の社会的関心が高まる。

「ひび割れ設計」への発想の転換

- ・漏水抵抗性確保 …… 設計ひび割れ幅0.1mm (許容ひび割れ幅0.15mm)
- ・劣化抵抗性確保 …… 設計ひび割れ幅 屋外0.2mm以下
(許容ひび割れ幅0.3mm)



2004年度時点での材料施工委員会の問題点と課題とそれに対する対応

1. 出版、講習会等

一部の標準仕様書JASS、指針を除き販売部数が停滞

標準仕様書JASS、施工指針類の見直し、改定が課題・・・ 5～7年以内での見直しの励行

2. 委員会

運営委員会の不均衡

・・・内外装運営委員会を2つに分割

委員任期3期6年の制約(規準・仕様書作成の障害)

主査任期2期4年の制約(仕様書作成中の交代困難)

小委員会兼務数3の制約(規準・仕様書作成の障害)

委員の高齢化

・・・若手委員の積極的登用

ゼネコン委員の減少

・・・中堅ゼネコン・メーカー委員の増強

任期オーバー委員の問題

・・・自浄の喚起

非会員委員の問題

・・・会員化への積極的働きかけ

3. 調査研究費

学術推進委員会予算の減少

2006年度時点での材料施工委員会の問題点と課題

1. 出版、講習会等

講習会、シンポジウムの参加者数の減少化傾向
新規分野の研究着手、委員会発足の活性化

2. 委員会

主査、委員の任期の制約(仕様書等作成の障害)
さらなる若手委員の登用

3. 調査研究費

予算の減少:論文発表の喚起、出版・講習会事業の活性化、委員会予算配分の再検討